

## 平成 30 年度活動報告 -平成 31 年 04 月 19 日(金)-

庶務担当 齊藤雅一

### 1. 総会関係

平成 30 年度総会を平成 30 年 04 月 20 日(金)、ハロー貸会議室秋葉原駅前ルーム A にて 17:30~18:30 の時間帯で開催した。来賓として日臨技会長の宮島喜文様、私立医大技師長会会長の上道文昭様にご挨拶をお願いした。議長は帝京大学医学部附属病院の小松和典技師長をお願いした。参加人数は 24 名であった。

### 2. 研修会関係

(1)学術講演会を平成 29 年 04 月 21 日(金) 総会終了後に 18:30~19:30 の時間帯で開催した。「悪性リンパ腫を理解するための基礎知識」(リンパ系のしくみから可溶性 IL-2 レセプターの意味するところ)と題して積水メディカル株式会社の須長宏行氏に講演をお願いした。悪性リンパ腫と近年発売された汎用分析機器適応の可溶性 IL-2 レセプター測定試薬についての説明で、興味深い内容であった。参加人数は 32 名であった。

(2)第 36 回学術研修会を平成 30 年 10 月 20 日(土)、中野サンプラザ 7 階 研修室 10 にて 10:00~17:00 の時間帯で開催した。メインテーマは『検査の見かた、進め方』で、午前は「睡眠および睡眠障害と PSG 検査」と題して、第 1 回目の PSG 検査基礎講座を行ない、更に、新ホームページの説明会を実施した。

ランチセミナーは「敗血症マーカー プレセプシンの up-to-date」と題して株式会社 LSI メディエンスに、「質量分析装置による患者様および病院、検査室への貢献」と題してベックマン・コールター株式会社をお願いした。敗血症マーカーと細菌検査における最新の情報を提供していただき興味深い内容であった。

午後のシンポジウムは 13:10~14:30 の時間帯で「基礎講座」と題して 2 名のシンポジストに①データを見る～臨床化学～、②免疫検査の基礎講座 感染症検査(TPAAb、HCVAb、HBsAg)を中心に、をお願いした。検体検査の注意点について述べられ、日当直帯検査において参考になる内容であった。

次に、14:50~16:50 の時間帯で①藤田保健衛生大学の大江瑞恵先生に「ゲノム医療と遺伝カウンセリング」を、②東海大学医学部附属病院の宮地勇人先生に「がんゲノム医療を支える検体検査の品質確保と環境整備」と題して特別講演をお願いした。最新のゲノム医療と臨床検査技師等に関する一部法改定の情報を提供していただき、有意義な講演であった。参加人数は 64 名であった。

(3)若手技師を対象とした生理機能検査 PSG 基礎講座を 3 回開催した。(10 月、11 月、1 月)

### 3. 会誌『KAMERADEN』の発行

『KAMERADEN』は 67 号(第 36 回学術研修会抄録集との合併号)を平成 30 年 10 月に、68 号を平成 31 年 03 月に発行した。

### 4. 会議関係

会議は理事会を 8 回、編集委員会を 2 回開催した。なお、詳細は『KAMERADEN』掲載の議事録を参照して頂きたい。

### 5. その他

経費節約として『KAMERADEN』67 号と第 36 回学術研修会抄録集を合併号とした。また、技師会の向上を図るため、活動内容をホームページに表示した。なお、今年度は、ホームページを更新し、会員・賛助会員に説明する機会を設けた。学術研修会ではランチセミナーを実施し、多くの検査技師が参加出来るよう工夫した。